

ゆるやかでも一体的なコミュニティ形成を ～ミニマムで持続可能な町内会運営～

シティタワーあすとレジデンシャル町内会 会長 あいざわ ひろと 相澤 寛人さん



新たな町内会を設立！ ミニマムで持続可能な町内会運営のために

太白区にあるシティタワーあすとレジデンシャル町内会は、令和5年5月に設立され、令和6年1月時点で360世帯が所属している、マンション住民による町内会です。令和元年7月に入居開始した当マンションには区分所有者で形成される管理組合がまもなくできましたが、物件を借りて入居している住民には管理組合からのお知らせが届かないこともあり、マンション全体として一体的な防災を進めるために町内会を結成する必要性がありました。

管理組合における役員の経験から、役員・住民のいずれも負担が少ない「ゆるやかで一体的なコミュニティ形成」の必要性を感じ、趣意に賛同いただいた準備メンバーとともに町内会を設立しました。

当マンションでは、管理費・修繕積立金・駐車場代だけでも月に数万円となっているため、各家庭にこれ以上の負担を強いることはできないと感じ、持続可能な町内会とするため「町内会費は無料」としています。仙台市からの町内会育成奨励金や市政だより等の配布謝礼金、集団資源回収代を基本的な運営資金としています。

ミニマムな運営の要となるのがイベントや会合等の案内を公式LINEで行っている点です。有料ではありますが登録している人に一斉に通知できる点と、家族等とのやり取りで日頃から使い慣れているツールである点から、災害時等の迅速な情報発信手段としても大変有効だと感じているところです。ちなみに、公式LINEの二次元コードについてマンションのエレベーター内に貼付したところ、登録者がかなり増えました。この経験から、重要な周知文等についてはエレベーター内に掲出するようにしました。

その他の工夫として、個人情報の収集を行っていない点が挙げられます。会員の情報は全て「部屋番号」で管理しています。総会等の会合を欠席する場合に、委任状を部屋番号で提出できるようにしておりますが、現状この運用で不都合が生じたことはありません。

このようなミニマムな運営を行っているため、5名の役員で役割を分担し町内会運営を行っていますが、負担を感じることはほぼありません。

楽しみながら防災力向上を図る

会員同士の親睦を深めることと防災力を高めることを目的として、令和5年12月に「町内会クリスマスイベント」を開催し、参加者多数にて大変活況に終わりました。フォトスタジオ協賛のもと「セルフフォトスタジオ撮影会」やミュージックベル同好会等による「クリスマスコンサート」、マンション内に設置した「スタンプラリー」などを行いました。好評だったスタンプラリーでは、備蓄物資を保管している防災倉庫やAEDを配置しているコンシェルジュデスク等、防災に関連のある箇所を中心にスタンプ台を設置しました。参加者からは「このような場所があることを初めて知った！」といった声もいただいております。楽しみながらマンションの防災機能を知っていただく良い機会になったと思います。

このイベントを準備する際、役員の負担を軽減するため、公式LINEで実行委員会に参加いただける方を募集したところ複数の応募があり、皆で楽しくイベントを進めることができました。今後も、イベント規模によっては実行委員会方式をとり、役員の負担軽減を図りながら、住民が町内会運営に携わる機会を作っていきたいと考えています。



町内会
クリスマス
イベントの様子

住民のアイデアを取り入れ柔軟に変化していく

設立から約8か月。町内会の設立にあたり事前にマンション内での合意形成や周知等を図ってきたこともあり、大きな問題なく進められていると感じています。できる限り住民に負担のない形で運営してきましたが、住民からは、子どもや高齢者など、世代ごとに交流できるイベントを開催してほしいといったご意見等をいただいております。そうしたことを受け、今後は「子育てサロン」や「お茶飲みイベント」を開催したいと考えております。これからも様々な方にご意見をいただきながら、柔軟に変化していく町内会を目指します。